

V. 特記事項

1. 大阪成蹊学園 LCD 教育プログラム

本学園では、建学の精神「桃李不言下自成蹊」の理念に基づき、徳があり、人に慕われ、信頼される人、すなわち広く社会で活躍できる「人間力」を備えた人材を育成することを教育の目標としている。また、建学の精神を実践するにあたり、「忠恕」（孔子『論語』より）、すなわち誠をつくし、人の立場になって考え行動することを行動の指針としている。

本学の教育目標である広く社会で活躍できる「人間力」を備えた人材育成の前提となる本学園の教育の質を保証し、様々な取組みを統合するものとして、平成 30(2018)年度より新たに「大阪成蹊学園 LCD 教育プログラム」を構築・始動した。

この「LCD」とは、「Literacy（課題解決のプロセスに必要な、「読む力」「書く力」「話す力」や数的処理等の基礎能力）」「Competency（社会において多様な人々と協働しながら、課題を解決し、高い成果を出すために必要な能力）」「Dignity（知性と教養を兼ね備え、人や物事に対して常に謙虚・誠実で、心豊かな人生を送る上で必要とされる品格）」の頭文字である。そして「LCD 教育プログラム」とは、在学中の学びを支え、卒業後もさらに学び続け、自らの確かなキャリアを形成するために「初年次教育」において生涯に亘る学びの基礎となるアカデミックスキルを修得し、「キャリア教育」を通じ自分の生き方を描き、卒業後も真に役立つ思考力、判断力等を身につける。また、「教養教育」では人文・社会・自然科学に関する教養から人や社会を見つめ、感性と知的好奇心を育み、「専門教育」では、理論と実践を往還し、実社会の多様な人々との関わりのなかで、確かな専門性を身につけていく。さらには、「グローバル教育」において語学力を磨くとともに、グローバル人材に必要な素養を身につけ、「データサイエンス教育」によって AI 社会を生き抜く教養とデータサイエンスの基礎スキルを獲得する。これらの教育を通じ、社会に通用する高い専門性に加え、全ての学修において「Literacy」「Competency」「Dignity」を養うための「人間力教育」を実践している。

こうした「大阪成蹊学園 LCD 教育プログラム」の成果は、PROG テストや卒業時アンケートを通じ可視化をして確認している。

その結果、大阪成蹊大学 2023 年度 3 年生の PROG テスト「リテラシー総合（7段階評価）」において 4.10、「コンピテンシー総合（7段階評価）」において 3.16 といずれも私立 4 年制大学文系 3 年生平均を上回る結果となっている。また、卒業時アンケートにおいて行動指針である「忠恕の心」の修得には、全学部で 90%以上がポジティブ回答をしており、「大阪成蹊学園 LCD 教育プログラム」は本学の特色となっている。



図表 V-1 大阪成蹊学園 LCD 教育プログラム